# 令和４年度

# 事　業　報　告　書

自　令和　４年　４月　１日
至　令和　５年　３月３１日

社会福祉法人　海南市社会福祉協議会

# 目　次


令和４年度 重点事業の成果 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

Ⅰ．法人運営事業

1　法人運営事業①・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
2　法人運営事業②・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
3　法人運営事業③・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
4　法人運営事業④・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

Ⅱ．地域福祉事業

1　福祉団体への活動助成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
2　民生委員児童委員等関係事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
3　用具等貸与事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
4　広報事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
5　ボランティア育成事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
6　災害ボランティア運営事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
7　善意銀行運営事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
8　心配ごと相談事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
9　福祉教育事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
10　ボランティアセンター活動事業、ボランティア活動支援事業・・・・・・・ 22
11　ふれあい・いきいきサロン支援事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
12　地域福祉活動計画進行管理事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27
13　福祉総合相談事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
14　生活困窮者自立相談支援事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30
15　生活困窮者家計改善支援事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 32
16　生活困窮者自立支援金給付事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33
17　地域福祉活動支援事業(生活支援体制整備事業等)・・・・・・・・・・・・ 34
18　子どもの居場所づくり支援事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 37
19　認知症見守り・啓発事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 39
20　福祉サービス利用援助事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 40
21　生活資金貸付事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 41
22　生活福祉資金貸付事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 42

Ⅲ．在宅福祉事業

1　いきいき介護予防事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 44

Ⅳ．その他の関連事業

1　共同募金運動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 45
2　赤十字活動資金事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 46

# 令和4年度　重点事業の成果

## ★重点事業１　地域福祉活動支援事業（生活支援体制整備事業等）の推進

海南市全域での「生活支援体制」整備に向けて、多様な主体が情報を共有し、連携及び協働により新たな地域資源が開発されるよう、第１層協議体会議を３回開催し、コロナ禍における各所属団体の活動状況や社会貢献活動の現状などを共有しました。

また、住民主体の助け合い活動を地域に広めるため、市と共催で「助け合い社会フォーラム」を開催したほか、ボランティアセンター活動事業と連携し、「生活支援ボランティア養成講座」を実施しました。

第２層協議体における活動では、協議体未設置の地区、特に高齢化率が高い山間部などでは、地域活動の担い手不足による負担感が顕著で、事業への理解を得ることが難しくなっているほか、人家が広範囲に分散している地域では、旧小学校区全域をとりまとめることが困難となっています。

そのような中、地域活動への参加をはじめ、各種団体への協力依頼や地域のキーパーソンへの働きかけを行ったほか、住民へのアンケート・ヒアリング等を実施し、地域資源の掘り起こしや地域課題の把握・共有などに取組んだ結果、７月に冷水地区、１１月には北野上地区において、新たに協議体が設置されました。

また、既に設置済みの地区においては、引き続き各地区の活動を支援しました。

各圏域の活動は次のとおりで、西部圏域においては、日方地区で地域の集いの場を紹介する広報誌を発行したほか、小学校と連携した地域学習として「まちあるき」を実施しました。

また冷水地区では、地区内全戸を対象に移動支援に係るアンケート調査を行い、外出支援に係るボランティア講習会の開催に向けた調整を行いました。

次に東部圏域においては、巽地区で、地域活動の充実・強化に向けた情報共有の一環として「巽地区ラジオ体操マップ」を作成し地区全戸に配布したほか、地域住民の防災意識が向上する取組みについて協議しました。

また、亀川地区では、小学生を対象に昔のくらしや道具などについて授業を行ったほか、小学生の登下校の見守りが新たに必要となった箇所において、見守り活動を開始しました。

そのほか、北野上地区では、自治会や民生委員児童委員と協議体の活動方針を共有し、地域での「見守り合い」について意識づけを行いました。

最後に南部圏域においては、下津地区で、誰でも気軽に参加できるイベントとして「ふれあいウォーク」を開催したほか、サロンやラジオ体操の活動先に赴き、地域活動の取材を行いました。

また、大東地区では、高齢者の居場所として体操教室を開催し、健康維持増進や参加者同士の交流を図るとともに、小学生の登下校の見守りに合わせて高齢者同士の見守りも行いました。

そのほか、大崎地区では、協議の場づくりに向けた活動方針や設置目的などについて協議を重ねたほか、塩津地区では、挨拶や声かけなどの見守り活動が必要となる世帯の把握を行いました。

**★重点事業２　生活困窮者自立相談支援事業の推進**

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、様々な困難により生活に困窮する人に対し、一人ひとりの状況に応じた適切な支援プランを作り、本人に寄り添った支援に努めました。

とりわけ、新型コロナの影響により収入が減少し、日常生活が維持できなくなった相談者には、職員を増員し、緊急小口資金や総合支援資金のコロナ特例貸付の迅速な申請手続きを支援したほか、就労による自立を図る相談者には、生活困窮者自立支援金や住居確保給付金の申請手続きを支援するなど、個別支援と資金貸付等をセットにした包括的な支援を行いました。

また併せて、令和５年１月からコロナ特例貸付の償還が開始される対象者には、文書により償還免除や猶予に関する案内を送付し、問い合わせ対応や手続き支援を行うとともに、相談に来られない対象者には、自立相談支援の一環として自宅訪問や電話連絡を行うなどアウトリーチの強化を図り、相談者とともに課題を考え、必要に応じ貸付にかかる手続きを手伝うなど、積極的な伴走型支援に取り組みました。

ひきこもり支援については、民生委員児童委員協議会によるアンケート結果をもとに市と連携して聞き取り調査や訪問を行いました。そのほか、他機関との関わりとして野上厚生病院が月１回企画する「女子会（ひきこもり当事者の会）」に参加し、ひきこもり当事者との交流を通して理解を深める機会を持ちました。

**★重点事業３　災害ボランティア運営事業の強化**

被災後の迅速かつ円滑な復旧・復興には、若い世代の力が不可欠であることから、日頃から顔の見える関係性を築くため、市内の中学生、高校生や県内の大学生等の参加を得て、災害ボランティア講座を１回、災害ボランティアセンター（以下「災害ＶＣ」という。）設置運営訓練を２回実施しました。

災害ボランティア講座では、災害ボランティアの役割や資機材の事前準備の必要性を学ぶとともに、所有する資機材のリストアップ作業を行いました。

また、災害ＶＣ設置運営訓練では、災害ボランティア登録者や応援協定を締結しているＮＰＯ法人等と連携を図りながら、旧塩津小学校及び巽中学校において支援活動訓練を行ったほか、「和歌山県看護協会研修センター」を災害ＶＣの新たな候補地として訓練を実施し、有効性を検証しました。

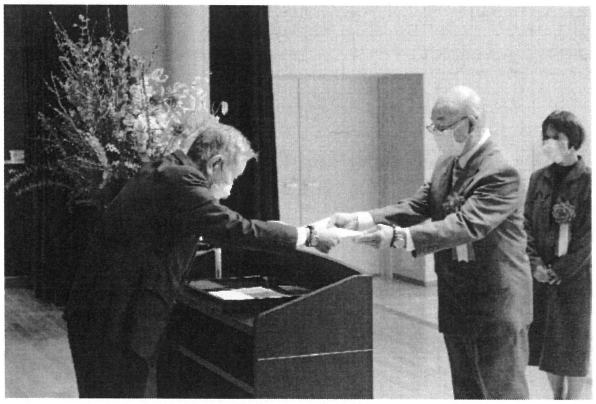
その他、災害ボランティア登録については、広報紙やホームページを活用し周知に努めるとともに、講座や訓練への参加者にも呼びかけを行いました。

| Ⅰ．法人運営事業 | １　法人運営事業① |
|---|---|
| 事業費総額 | ３７８，８３２円 |
| 財　　源 | 市補助金、一般財源 |
| 事業概要 | 法人の会務の円滑な運営を図るため、次の会議を開催します。<br>理事会、評議員会、監事会及び評議員選任・解任委員会<br>社会福祉の推進に多年にわたり活動を続け、その功績が顕著である方に対して、社会福祉協議会会長より表彰又は感謝の意を表し、その功績と労苦に報いるとともに、社会福祉の増進に資することを目的に社会福祉功労者表彰式を開催します。 |
| 実施内容・実績 | ●会議の開催<br>【理事会】<br>第１回：令和４年６月７日（出席理事１０名）<br>［提出議案等］<br>令和３年度事業報告、令和３年度法人全体決算、令和４年度第１次補正法人全体収支予算　ほか計５議案、報告１件<br>第２回：令和４年１２月９日（出席理事１０名）<br>［提出議案等］<br>令和４年度第２次補正法人全体収支予算、副会長の選任、評議員会の招集　計３議案、報告１件<br>第３回：令和５年３月１５日（出席理事９名）<br>［提出議案等］<br>令和５年度事業計画、令和５年度法人全体収支予算、定款の一部を改正する定款　ほか計８議案、報告１件<br>【評議員会】<br>第１回：令和４年６月２２日（出席評議員１５名）<br>［提出議案］<br>令和３年度事業報告、令和３年度法人全体決算、令和４年度第１次補正法人全体収支予算、理事（３名）選任　計６議案<br>第２回：令和４年１２月２６日（出席評議員１２名）<br>［提出議案等］<br>令和４年度第２次補正法人全体収支予算、下津事業所に関わる報告　計１議案、報告１件<br>第３回：令和５年３月２８日（出席評議員１４名）<br>［提出議案］<br>令和５年度事業計画、令和５年度法人全体収支予算、定款の一部を改正する定款　ほか計８議案<br>【監事会】<br>令和４年５月２５日<br>［監査内容］ |

<table>
<tr><td></td><td>令和３年度事業報告及び法人全体決算<br>【評議員選任・解任委員会】<br>令和４年６月９日（出席委員５名）<br>［提出議案］<br>評議員（４名）選任<br><br>●令和４年度海南市社会福祉功労者表彰式<br><table><tr><td>開 催 日</td><td>令和４年１０月２６日</td></tr><tr><td>会　　場</td><td>海南 nobinos　ノビノスホール</td></tr><tr><td>被表彰者</td><td>市社協会長表彰<br>心配ごと相談員功労者　２名<br>民生委員・児童委員功労者　５名<br>社会福祉関係団体役員、職員功労者　４名<br><br>市社協会長感謝<br>社会福祉事業協助者　１団体</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>地域福祉<br>活動計画</td><td>計画外</td></tr>
</table>

＜主な様子＞　海南市社会福祉功労者表彰式





○令和４年度和歌山県社会福祉功労者表彰式

| 開 催 日 | 令和４年１０月３日 |
|---|---|
| 会　　場 | 和歌山県民文化会館 |
| 本市被表彰者 | 県知事感謝<br>民生委員・児童委員功労者　２名<br>福祉ボランティア功労者　１団体<br>県社協会長表彰<br>民生委員・児童委員功労者　３名 |

<table>
<tr><td>Ⅰ．法人運営事業</td><td>２　法人運営事業②</td></tr>
<tr><td>事業費総額</td><td>２６０，８８３円</td></tr>
<tr><td>財　　源</td><td>社協会費、一般財源</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td>社会福祉協議会職員の福祉意識を醸成するための研修等を開催するほか、職責に応じた研修会や県社会福祉協議会が主催する市町村社会福祉協議会役職員研修会に参加します。<br>社会福祉協議会会員の拡大、特に企業・団体・施設等の加入促進を図るため、社会福祉協議会の活動や会員制度の趣旨、会費の使途等の周知に努めます。<br>地域福祉活動の財源確保のため、共同募金をはじめ、国、県、県社会福祉協議会、民間福祉財団等の助成金の活用を検討します。</td></tr>
<tr><td>実施内容・実績</td><td>●研修会への参加<br>◇第２０回全国社協職員のつどい
<table>
<tr><td>実施日</td><td>令和４年７月１７日</td></tr>
<tr><td>方　法</td><td>オンライン開催</td></tr>
<tr><td>参加者</td><td>７名</td></tr>
<tr><td>内　容</td><td>「社協」という同じ屋号を持つ者同士で、そのアイデンティティを確かめ合い、住民とともに新たな未来を切り拓くための力を磨く</td></tr>
<tr><td>主　催</td><td>関西社協コミュニティワーカー協会</td></tr>
</table>
◇包括的支援体制と地域共生社会・共生社会の実現に向けた総合研修
<table>
<tr><td>実施日</td><td>令和４年９月９日～１１月１８日（全１６回）</td></tr>
<tr><td>方　法</td><td>オンライン開催</td></tr>
<tr><td>参加者</td><td>１名</td></tr>
<tr><td>内　容</td><td>地域共生社会の実現に向けて、実践や行政動向から理論までを学ぶ</td></tr>
<tr><td>主　催</td><td>日本社会事業大学　学長室　社会福祉研修センター</td></tr>
</table>
◇福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程【中堅職員】
<table>
<tr><td>実施日</td><td>令和４年１０月２５日～２６日</td></tr>
<tr><td>会　場</td><td>県民交流プラザ和歌山ビッグ愛</td></tr>
<tr><td>参加者</td><td>１名</td></tr>
<tr><td>内　容</td><td>福祉施設等に勤務する中堅職員として、役割を遂行するための基本を学ぶ</td></tr>
<tr><td>主　催</td><td>和歌山県社会福祉協議会</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

◇令和４年度市町村地域福祉主管課長・社会福祉協議会事務局長会議

| | |
|---|---|
| 実施日 | 令和４年１１月２４日 |
| 会　場 | 県民交流プラザ和歌山ビッグ愛 |
| 参加者 | １名 |
| 内　容 | 各市町村の行政及び社会福祉協議会が一体となり、重層的支援体制の整備、住民主体の地域福祉活動等、地域共生社会の実現に向けた取組を推進する |
| 主　催 | 和歌山県、和歌山県社会福祉協議会 |

◇令和４年度市町村社会福祉協議会会長会議・県地域福祉推進フォーラム

| | |
|---|---|
| 実施日 | 令和４年１２月２３日 |
| 会　場 | 県民交流プラザ和歌山ビッグ愛 |
| 参加者 | ２名 |
| 内　容 | 最近の社会情勢と子どもを取り巻く課題についての講演、実践報告を交えたシンポジウム |
| 主　催 | 和歌山県社会福祉協議会 |

◇令和４年度市町村社会福祉協議会役職員研修会

| | |
|---|---|
| 実施日 | 令和５年２月１０日 |
| 会　場 | 紀南文化会館 |
| 参加者 | ５名 |
| 内　容 | 特例貸付を切り口とした社会福祉協議会の相談支援の在り方を役職員で再確認するとともに、今後の相談支援体制強化に向けた取組や支援方策について考える |
| 主　催 | 和歌山県社会福祉協議会 |

●社会福祉協議会会員の募集

住民の皆様はじめ、民生委員児童委員協議会、企業、団体等のご理解とご協力を得て、社会福祉協議会会費を納入していただきました。

社協会費の使途を説明するとともに、前年度取り組んだ地域福祉活動事業の写真を掲載するなど、身近な活動に役立てられていると感じていただけるようなチラシを作成し、配布しました。

コロナ禍の中、振込みによる納入の手順を作成し自治会に配布するとともに、ホームページに納入のお願いを掲載して加入促進を図りました。

併せて、各地区の民生委員児童委員協議会の定例会に出席し、賛助会費についての説明を行い、加入をお願いしました。

<table>
<tr><td></td><td>◇社協会費の内訳実績
<table>
<tr><th>区　分</th><th>金　額</th></tr>
<tr><td>一般会費（一口当たり　400 円）</td><td>４，８９４，２２３円</td></tr>
<tr><td>賛助会費（一口当たり 1,000 円）</td><td>２４６，０００円</td></tr>
<tr><td>特別会費（一口当たり 5,000 円）</td><td>１５５，０００円</td></tr>
<tr><td>合　　計</td><td>５，２９５，２２３円</td></tr>
</table>
<table>
<tr><th>予算額</th><th>達成率</th></tr>
<tr><td>５，７５０，０００円</td><td>９２．１％</td></tr>
</table>
●地域福祉活動の財源確保<br>和歌山県社会福祉協議会によるボランティア活動交流普及事業助成金を活用し、生活支援ボランティア養成講座を実施したほか、和歌山県による生活支援専門アドバイザー派遣を活用した研修会を開催しました。</td></tr>
<tr><td>地域福祉<br>活動計画</td><td>基本目標１：助け合い・支え合える地域コミュニティづくり<br>事業名：職員の福祉意識の醸成、社会福祉協議会の新規会員募集、民間財源等の活用の検討</td></tr>
</table>

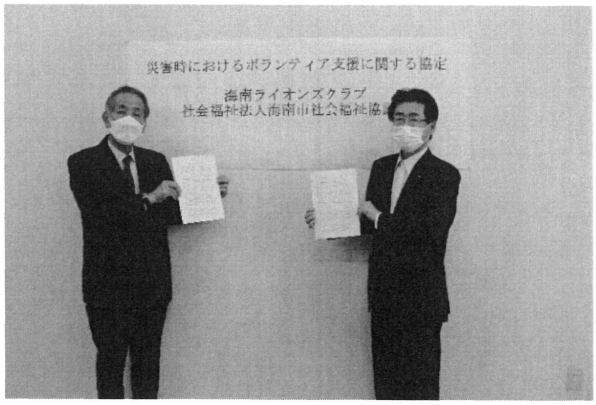
＜参考資料＞

| 年　度 | 一般会費 | 賛助会費 | 特別会費 | 合　計 | 予算額 | 達成率 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 令和３年度 | 5,139,458 円 | 280,000 円 | 160,000 円 | 5,579,458 円 | 5,750,000 円 | 97.0% |
| 令和２年度 | 5,176,669 円 | 238,000 円 | 260,000 円 | 5,674,669 円 | 5,750,000 円 | 98.7% |

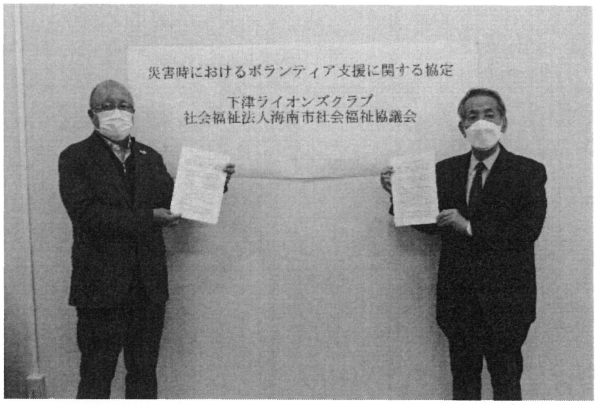
| Ⅰ．法人運営事業 | ３　法人運営事業③ |
|---|---|
| 事業費総額 | ― |
| 財　　源 | ― |
| 事業概要 | 災害時に職員が迅速かつ的確に行動できるよう災害時行動計画を策定するとともに、事業の優先順位等を決定し、災害時に重要な事業の継続や早期復旧のための対策を速やかに検討できるよう事業継続計画を策定します。<br>災害発生時に迅速かつ的確に被災者の支援活動ができるよう災害時応援協定を締結します。 |
| 実施内容・実績 | ●令和４年７月１６日及び１１月１３日、職員が災害発生時に迅速かつ的確に行動できるよう、海南市災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルに基づき、海南市災害ボランティアセンター設置運営訓練を実施しました。<br><br>●令和５年２月２０日、令和４年度近畿ブロック災害支援研修に参加し、松原市社協のＢＣＰ策定の手順等について学びました。<br><br>●大規模災害発生時における支援活動や災害ボランティアセンターにおける支援活動に対して、円滑な協力体制を築くことを目的に、災害時の応援協定を締結しました。<br>令和４年４月７日　　海南ライオンズクラブ<br>令和４年４月７日　　下津ライオンズクラブ |
| 地域福祉<br>活動計画 | 基本目標３：安心・安全な支え合いのまちづくり<br>事業名：災害時行動計画の策定、事業継続計画（BCP）の策定、災害時応援協定の締結 |

＜主な様子＞

海南ライオンズクラブとの協定




下津ライオンズクラブとの協定



| Ⅰ．法人運営事業 | ４　法人運営事業④ |
|---|---|
| 事業費総額 | ― |
| 財　　源 | ― |
| 事業概要 | 寄附者からの指定（交通遺児のために）により預かった寄附金を指定先に配分します。 |
| 実施内容・実績 | ●令和４年度の指定寄附金はありませんでしたが、前年度からの繰越金として２９０，０００円を預かっています。<br>※１名当たりの配分金の上限額を３０，０００円とし、指定寄附金より配分金が上回った場合に充当するため繰り越しています。<br><br>●中学生以下を対象に交通遺児に関する調査を行ったところ、該当者はありませんでした。 |
| 地域福祉<br>活動計画 | 計画外 |

<table>
<tr><td>Ⅱ．地域福祉事業</td><td>１　福祉団体への活動助成</td></tr>
<tr><td>事業費総額</td><td>５１１，２１０円</td></tr>
<tr><td>財　　源</td><td>共募配分金、その他（前期末支払資金残高）</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td>社会福祉関係団体が行う社会福祉活動に対し、助成金を交付することにより、当該団体を育成・支援するとともに、地域の社会福祉活動の活性化を図ります。</td></tr>
<tr><td>実施内容・実績</td><td>令和４年度社会福祉関係団体助成金を下記の団体へ交付しました。
<table>
<tr><th>団　体　名</th><th>交　付　額</th></tr>
<tr><td>海南市老人クラブ連合会</td><td>５０，０００円</td></tr>
<tr><td>海南市身体障害者連盟</td><td>１５６，５９０円</td></tr>
<tr><td>海南市障害児者父母の会</td><td>１６０，０００円</td></tr>
<tr><td>海南たんぽぽの会</td><td>３０，０００円</td></tr>
<tr><td>手話サークル「青空」</td><td>３０，０００円</td></tr>
<tr><td>紀の国断酒会友綱</td><td>１０，０００円</td></tr>
<tr><td>海南市更生保護女性会</td><td>４０，０００円</td></tr>
<tr><td>紀西保護司会海南分会</td><td>３０，０００円</td></tr>
<tr><td>合　　計</td><td>５０６，５９０円</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>地域福祉<br>活動計画</td><td>計画外</td></tr>
</table>

＜参考資料＞

| 年　度 | 交付団体数 | 交付総額 |
|---|---|---|
| 令和３年度 | ８団体 | ４７０，０００円 |
| 令和２年度 | ８団体 | ５９０，０００円 |

<table>
<tr><td>Ⅱ．地域福祉事業</td><td>２　民生委員児童委員等関係事業</td></tr>
<tr><td>事業費総額</td><td>１２４，８９３円</td></tr>
<tr><td>財　　源</td><td>共募配分金</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td>民生委員児童委員協議会活動を支援し、助成を行うとともに、民生委員・児童委員等の互助と共励を基盤として、活動の充実振興を図ることを目的として、全国民生委員互助共励事業に係る事務を行います。</td></tr>
<tr><td>実施内容・実績</td><td>●民生委員児童委員協議会活動を支援し、助成を行いました。<br><br>●民生委員互助共励事業の給付内容は次のとおりです。
<table>
<tr><th>種　　別</th><th>件　　数</th></tr>
<tr><td>一 般 傷 病</td><td>８件</td></tr>
<tr><td>一 般 死 亡</td><td>２件</td></tr>
<tr><td>配偶者死亡</td><td>１件</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>地域福祉<br>活動計画</td><td>計画外</td></tr>
</table>

＜参考資料＞

| 年　度 | 種　　別 | 件　　数 |
|---|---|---|
| 令和３年度 | 一 般 傷 病 | ４件 |
| | 公 務 傷 害 | １件 |
| | 一 般 死 亡 | １件 |
| | 配偶者死亡 | １件 |
| 令和２年度 | 一 般 傷 病 | ６件 |
| | 退 任 慰 労 | １件 |

<table>
<tr><td>Ⅱ．地域福祉事業</td><td>３　用具等貸与事業</td></tr>
<tr><td>事業費総額</td><td>１３５，１９０円</td></tr>
<tr><td>財　　源</td><td>共募配分金、社協会費、その他（利用料）</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td>高齢者や障害者等の日常生活での負担とその家族の介護に対する負担の軽減を図るため、また自治会や学校等の車イス体験及び防災研修会等の開催を支援するため、車イスを貸し出します。<br>チャイルドシート等の使用を促進し、幼児の生命又は身体に対する危害を防止するため、チャイルドシート等を貸し出します。<br>住民の交流及び健康増進を図るため、グラウンド・ゴルフ用具を貸し出します。</td></tr>
<tr><td>実施内容・実績</td><td>ア　車イスの貸出し<br><table><tr><th>貸出先</th><th>貸出件数</th><th>貸出台数</th></tr><tr><td>個　　人</td><td>２８件</td><td>２９台</td></tr><tr><td>団　　体</td><td>６件</td><td>７台</td></tr></table><br>イ　チャイルドシート等の貸出し<br><table><tr><th>品　　名</th><th>貸出件数</th></tr><tr><td>チャイルドシート</td><td>１０件</td></tr><tr><td>ジュニアシート</td><td>３件</td></tr></table><br>ウ　グラウンド・ゴルフ用具の貸出し<br><table><tr><th>品　　名</th><th>貸出件数</th></tr><tr><td>グラウンド・ゴルフ用具</td><td>７件</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>地域福祉<br>活動計画</td><td>計画外</td></tr>
</table>

＜参考資料＞

| 年　度 | 車イス | チャイルドシート | ジュニアシート | グラウンド・ゴルフ用具 |
|---|---|---|---|---|
| 令和３年度 | １９件 | ６件 | ０件 | ５件 |
| 令和２年度 | ２４件 | ３件 | ０件 | ２件 |

| Ⅱ．地域福祉事業 | ４　広報事業 |
|---|---|
| 事業費総額 | ２，１３３，６５０円 |
| 財　　源 | 共募配分金、社協会費 |
| 事業概要 | 社会福祉協議会の事業や活動について、住民の方々に幅広く知っていただくため、広報紙の毎月発行とホームページを随時更新するとともに、地域や企業、学生などそれぞれの目線で分かりやすいよう地域福祉に関する取り組みなどの情報発信を行います。<br>広報に関する研修への参加に加え、他社協を含め、幅広く行政などの広報紙から見せ方等を研究するなど、広報ノウハウの向上を図ります。 |
| 実施内容・実績 | ●広報紙の発行<br>毎月発行する広報紙「福祉かいなん」を幅広い世代に手に取ってもらえるよう紙面構成を工夫し、自治会のご尽力をいただき、市内各戸に配布しました。また、市内のオークワ２店舗での配架を開始しました。<br>●ホームページの運営<br>地域活動の状況等を投稿したほか各種募集案内などの情報を発信しました。（ホームページ訪問者数　９，４９３人）<br>●ＳＮＳを活用した情報発信<br>Facebook を活用し、地域活動の状況等の情報発信を行いました。<br>●高校・大学での情報発信<br>海南高校、和歌山信愛大学及び和歌山大学において、災害ボランティアセンター設置運営訓練への参加の呼びかけ等を行いました。<br>●団体等への情報発信<br>海南東ロータリークラブ及び海南ライオンズクラブにおいて、社会福祉協議会の取り組みや社会貢献活動について紹介しました。<br>●リーフレットの作成<br>企業や社会福祉法人等への訪問時、また学生等に配布するため、社会福祉協議会の取り組みが一目で分かるようなリーフレットを作成しました。<br>●研修会への参加<br>広報意識の向上と専門的なノウハウを身につけるため、より伝わりやすい広報紙面の作成方法やＳＮＳの活用方法、写真の撮り方などを学ぶ広報研修会に参加しました。 |
| 地域福祉<br>活動計画 | 基本目標１：助け合い・支え合える地域コミュニティづくり<br>事業名：広報事業、社会福祉協議会の取り組みの見える化、職員の広報意識の向上と広報ノウハウの取得 |

〈参考資料〉

| 年　　度 | ホームページ訪問者数 |
|---|---|
| 令和３年度 | ９，２２４人 |
| 令和２年度 | ８，３０２人 |

<table>
<tr><td>Ⅱ．地域福祉事業</td><td>５　ボランティア育成事業</td></tr>
<tr><td>事業費総額</td><td>７６，９５２円</td></tr>
<tr><td>財　　源</td><td>共募配分金、社協会費</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td>小学生及び中学生のボランティア活動へのきっかけづくりとして、様々なボランティア活動を体験する夏のボランティア体験月間事業を実施します。</td></tr>
<tr><td>実施内容・実績</td><td>ボランティア活動へのきっかけづくりとして、小学生・中学生が、主に夏休み期間を利用し、様々なボランティア活動を体験することを目的に、夏のボランティア体験月間事業を実施しました。<br>コロナの影響や天候により中止したプログラムもありましたが、屋外で活動するプログラムや少人数のプログラムは実施することができました。<br>期　間：令和４年７月３日～８月２１日<br>対　象：市内在住または在学の小学生及び中学生<br>実施プログラム数：６<br>参加者：延べ４０名（小学生１８名、中学生２２名）</td></tr>
<tr><td>地域福祉<br>活動計画</td><td>計画外</td></tr>
</table>

| プログラム名 | 場　　所 | 参加人数 | 申込人数 |
|---|---|---|---|
| お宅訪問ボランティア | 黒江地区 | ２名 | ３名 |
| | 日方地区 | ６名 | ６名 |
| | 北野上地区 | 中止 | ６名 |
| | 大東地区 | 中止 | ６名 |
| | 大崎地区 | 中止 | ６名 |
| 地域清掃ボランティア | 重根ひろば | ８名 | １０名 |
| | 善福院 | ８名 | １０名 |
| | 下津地区 | ８名 | １０名 |
| | 冷水地区プール | 中止 | ３名 |
| 夏まつりボランティア | 海南 nobinos | ８名 | ８名 |
| 図書ボランティア | 海南 nobinos | 中止 | １０名 |
| 折り紙ボランティア | 海南スポーツセンター | 中止 | ３０名 |
| サロンボランティア | 重根西部地区集会所 | 中止 | ６名 |
| デイサービスボランティア | 下津保健福祉センター | 中止 | ３名 |

＜主な様子＞

お宅訪問ボランティア（日方地区）



地域清掃ボランティア（下津地区）



＜参考資料＞

| 年　度 | 実施プログラム数 | 延べ参加者数 |
|---|---|---|
| 令和３年度 | 7 | ７４名（小学生 45 名・中学生 29 名） |
| 令和２年度 | コロナの影響により未実施 | ― |

| Ⅱ．地域福祉事業 | ６　災害ボランティア運営事業 |
|---|---|
| 事業費総額 | １，０９１，１４２円 |
| 財　　源 | 共募配分金、社協会費 |
| 事業概要 | 災害ボランティア活動が迅速かつ円滑に実施できるよう、海南市や関係団体等と連携した災害ボランティアセンター（以下「災害ＶＣ」という。）設置運営訓練を実施するとともに、災害ボランティア活動の基盤強化に努めます。<br>災害ボランティアの事前登録を呼びかけるとともに、登録者に対して防災士資格取得費用助成制度の活用を促します。<br>職員の防災対応能力の向上を図るため、研修会への参加や訓練等を実施します。<br>被災地より要請があれば支援活動を行います。 |
| 実施内容・実績 | ●災害ＶＣ設置運営訓練<br>令和４年７月１６日、災害ＶＣを通じて活動する際のより実践的な流れを体験することを目的に市内中学生や災害ボランティア登録者、海南青年会議所、下津商工会青年部、ＮＰＯ法人と連携を図りながら、下津防災コミュニティセンターにおいて災害ＶＣ設置運営訓練を実施するとともに、旧塩津小学校において災害ボランティア活動訓練を実施しました。<br>令和４年１１月１３日、巽地区を重点地区とした海南市防災訓練を海南市と共催で開催し、海南高校生、和歌山信愛大学生、防災士、災害ボランティア登録者、ＮＰＯ法人等と連携を図りながら、和歌山県看護協会研修センターにおいて災害ＶＣ設置運営訓練を実施するとともに、巽中学校体育館において災害ボランティア活動訓練を実施しました。<br>●災害ボランティア講座<br>令和４年６月１８日、下津第一中学校及び下津第二中学校の生徒や和歌山信愛大学生が参加され、海南市災害ＶＣが所有する資機材の整理を中心に、災害ボランティアの役割や備えておくことの必要性、助け合える関係づくりの大切さを学ぶことを目的に災害ボランティア講座を開催しました。（参加者３０名）<br>●防災スクール<br>令和４年１２月１４日、海南高校において１年生と２年生を対象に開催された防災スクールにブース出展を行い、歩行が困難な高齢者等の避難方法を知るとともに、避難時に自分たちができることを考えることを目的に車イス体験を行いました。<br>●災害ボランティア登録<br>広報紙やホームページで周知を図るとともに、講座や訓練の参加者に登録への呼びかけを行いました。（登録者３６名） |

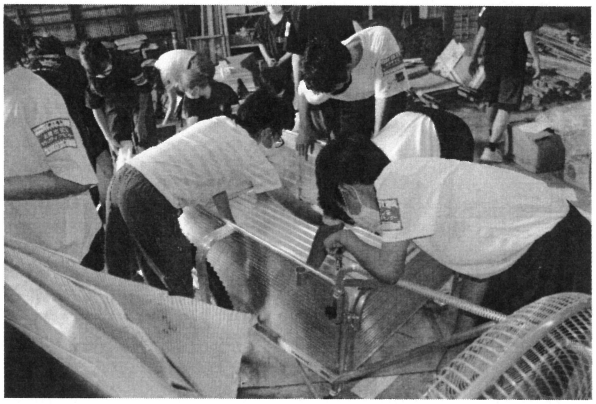
| | |
|---|---|
| | ●防災士資格取得費用助成制度<br>災害ボランティア登録者のうち防災士資格を取得した１名に対し、資格取得費用を助成しました。<br>●研修会への参加<br>県社会福祉協議会主催の災害ＶＣ中核スタッフ養成研修に参加し、県内の防災活動者らと顔の見える関係づくりや災害ボランティアに関する知識を深めるとともに、災害時にも生かせるつながり作りに努めました。<br>●支援活動<br>令和４年９月９日の大雨により、一人暮らしの高齢者の住居付帯の倉庫内が浸水したため、災害ボランティアを派遣し、浸水した倉庫内のもみ殻や木材等の搬出と氾濫した水路を清掃する災害ボランティア活動を行いました。 |
| 地域福祉<br>活動計画 | 基本目標３：安心・安全な支え合いのまちづくり<br>事業名：防災対応能力向上のための職員研修及び訓練の実施、災害ボランティア登録制度の充実、災害ボランティア研修及び活動訓練の実施、防災士資格取得補助制度の創設、災害ボランティアセンター設置運営事業、災害ボランティア活動の基盤強化 |

＜主な様子＞

災害ＶＣ設置運営訓練



災害ボランティア講座（資機材の整理）



＜参考資料＞

| 年　度 | 災害ボランティア登録者数 |
|---|---|
| 令和３年度 | ３０名 |
| 令和２年度 | ４５名 |

<table>
<tr><td>Ⅱ．地域福祉事業</td><td>７　善意銀行運営事業</td></tr>
<tr><td>事業費総額</td><td>１，０４５，５８３円</td></tr>
<tr><td>財　　源</td><td>善意銀行預託金</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td>住民福祉の増進に寄与することを目的に、市民や企業・団体等から善意の金品の預託を受けるとともに、預託された善意の預託金を善意銀行運営委員会の審議を経て、必要としている団体等に払い出します。<br>災害で被災された方に災害見舞金の支給や生活困窮者等への緊急かつ一時的な援助を行います。</td></tr>
<tr><td>実施内容・実績</td><td>●預託金品<br>（任意預託金）　２０件　　３２１，２５０円<br>（指定預託金）　１３件　　２４１，７５３円（子ども食堂等に）<br>（指定預託品）　９件　　米、食料品（子ども食堂に）<br>●払出し<br>（任意預託金）　４件　　７９９，３３６円<br><table><tr><th>団　体　名</th><th>内　　容</th><th>払出金額</th></tr><tr><td>海草生活総合支援<br>センターあかり</td><td>スポットクーラー</td><td>286,011 円</td></tr><tr><td>もなみ<br>（就労継続支援Ｂ型）</td><td>レクリエーション卓球台</td><td>210,375 円</td></tr><tr><td>ほっとスペース<br>（ボランティア）</td><td>子育てすこやか講演会開催費</td><td>100,000 円</td></tr><tr><td>ぱん工房かたつむり</td><td>白衣ズボン</td><td>202,950 円</td></tr></table>（指定預託金）　１３件　　２４１，７５３円<br>子ども食堂等に届けました。<br>（指定預託品）　９件　　米、食料品<br>子ども食堂に届けました。<br>●生活困窮世帯に食料品等を渡すため、４，４９４円を支出しました。</td></tr>
<tr><td>地域福祉<br>活動計画</td><td>基本目標１：助け合い・支え合える地域コミュニティづくり<br>事業名：善意銀行</td></tr>
</table>

＜参考資料＞

| 年　度 | 任意預託金 | | 任意預託金払出し | |
|---|---|---|---|---|
| | 件　数 | 金　額 | 件　数 | 金　額 |
| 令和３年度 | １６件 | １３１，７５８円 | ５件 | １，３０２，５７９円 |
| 令和２年度 | １９件 | １５３，３４６円 | ４件 | １，１１７，７００円 |

<table>
<tr><td>Ⅱ．地域福祉事業</td><td>８　心配ごと相談事業</td></tr>
<tr><td>事業費総額</td><td>２６４，５０８円</td></tr>
<tr><td>財　　源</td><td>社協会費</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td>市民の日常生活上のあらゆる相談に応じ、行政相談も含め個人の心配ごとなどに対する助言や援助を行って解決に努めるとともに、他の機関において解決するのが適切な相談については斡旋による解決に努め、住民福祉の増進を図ります。</td></tr>
<tr><td>実施内容・実績</td><td>●相談所運営状況
<table>
<tr><td rowspan="2">相談日時・場所</td><td>毎週金曜（祝日等を除く）13：00～16：00<br>海南保健福祉センター</td></tr>
<tr><td>毎月10日、25日13：00～16：00<br>（土曜、日曜、祝日の場合は翌平日）<br>下津保健福祉センター</td></tr>
<tr><td>相　談　員</td><td>民生委員２３名・行政相談委員３名</td></tr>
<tr><td>開 設 日 数</td><td>６８日</td></tr>
<tr><td>相談利用者数</td><td>延べ４９名（男２３名・女２６名）</td></tr>
<tr><td>相談総時間数</td><td>３２時間５５分</td></tr>
</table>
・心配ごと相談所の周知を図るため、市報や広報紙、ホームページに掲載するなど啓発に努めました。<br>・民生委員・児童委員の一斉改選に伴い、相談員が交替したことで相談員数が多くなりました。<br>●相談員研修<br>・令和５年３月３０日、どばし・おざき総合法律事務所の土橋弘幸弁護士を講師に迎え、隣近所とのもめごと、土地と建物の心配ごと、亡くなった後の心配ごとについて研修を行いました。</td></tr>
<tr><td>地域福祉<br>活動計画</td><td>基本目標２：市民の困りごとを受け止める総合相談体制づくり<br>事業名：心配ごと相談事業</td></tr>
</table>

＜参考資料＞

| 相談内容 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 生計 | 年金 | 職業・生業 | 住宅 | 家族 | 結婚 | 離婚 | 健康・保健・衛生 | 医療 | 人権・法律 | 財産 | 事故 | 児童福祉・母子保健 | 教育・青少年 | 障害者児福祉 | 母子福祉・父子福祉 | 高齢者福祉 | 苦情 | その他 | |
| 取扱件数 | 4 | 2 | 1 | 3 | 9 | 0 | 1 | 6 | 1 | 0 | 8 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 8 | 26 | 70 |

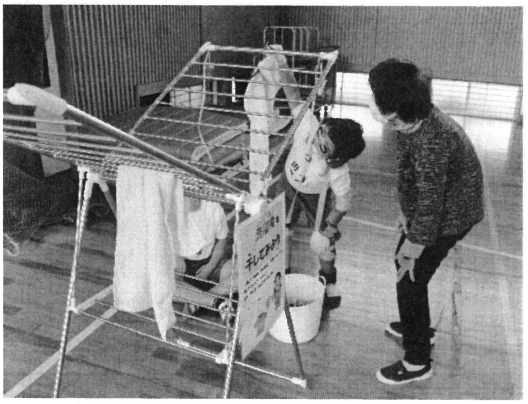
| 年　　度 | 開設日数 | 相談利用者数 |
|---|---|---|
| 令和３年度 | ６１日 | 延べ６４名 |
| 令和２年度 | ６３日 | 延べ３３名 |

<table>
<tr><td>Ⅱ．地域福祉事業</td><td>９　福祉教育事業</td></tr>
<tr><td>事業費総額</td><td>１４９，８５３円</td></tr>
<tr><td>財　　源</td><td>社協会費</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td>まちに住む様々な人が、普段の生活課題や福祉課題に気づき、ノーマライゼーションの考えに基づき行動できる福祉の心を育むことを目的に、学校や地域等と連携した福祉教育事業を実施します。<br>学校や地域が主体となって継続的に取り組むことができるようプログラムの見直しを行うとともに、新しいプログラムの作成に取り組みます。</td></tr>
<tr><td>実施内容・実績</td><td>●学校における福祉教育<br>福祉について考え、また相手の立場になって今の自分たちにできることを考えるきっかけとなるよう、申請のあった小学校及び中学校で福祉教育に取り組みました。
<table>
<tr><th></th><th>学校名</th><th>内　容</th></tr>
<tr><td rowspan="10">小学校</td><td>日方</td><td>点字体験、高齢者疑似体験、車イス体験、地域との交流</td></tr>
<tr><td>内海</td><td>アイマスク体験、高齢者疑似体験、車イス体験</td></tr>
<tr><td>大野</td><td>点字体験</td></tr>
<tr><td>巽</td><td>車イス体験</td></tr>
<tr><td>亀川</td><td>車イス体験、アイマスク体験</td></tr>
<tr><td>北野上</td><td>高齢者疑似体験、車イス体験</td></tr>
<tr><td>中野上</td><td>高齢者疑似体験</td></tr>
<tr><td>南野上</td><td>高齢者疑似体験、車イス体験</td></tr>
<tr><td>大東</td><td>親子車イス体験</td></tr>
<tr><td>加茂川</td><td>親子車イス体験</td></tr>
<tr><td rowspan="5">中学校</td><td>海南</td><td>車いすバスケットボール体験</td></tr>
<tr><td>巽</td><td>高齢者疑似体験</td></tr>
<tr><td>亀川</td><td>車いすバスケットボール体験、アイマスク体験</td></tr>
<tr><td>東海南</td><td>バリアフリーとユニバーサルデザイン、盲導犬とユーザーとの交流</td></tr>
<tr><td>下津第一</td><td>車いすバスケットボール体験、車イス体験、アイマスク体験、福祉防災学習</td></tr>
<tr><td>下津第二</td><td>車いすバスケットボール体験</td></tr>
</table>
学校が主体となって実施できるよう、希望する内容の相談や講師との調整等を行いました。<br><br>●新しいプログラムづくり<br>下津第一中学校３年を対象に、南海トラフ地震への備えとして、平時・発災時・避難所生活について学ぶプログラムを実施しました。また、平時から取り組める非常用持ち出し袋の点検や防災用品を作成するとともに、</td></tr>
</table>

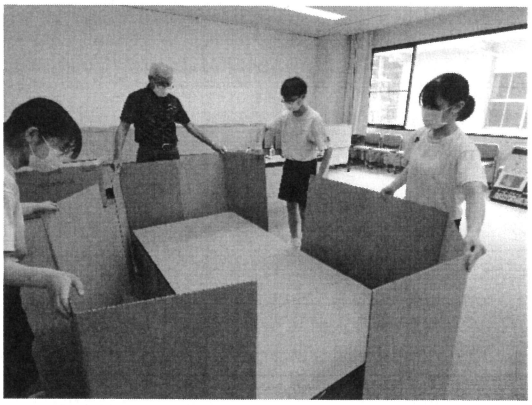
| | |
|---|---|
| | 様々な人の立場で発災時の避難経路を点検しました。併せて、避難所生活を想定し地域の方々と協力しながら段ボールベッド等の組み立てを行いました。 |
| 地域福祉<br>活動計画 | 基本目標１：助け合い・支え合える地域コミュニティづくり<br>事業名：福祉教育の推進、新しい福祉教育のプログラムづくり |

＜主な様子＞

高齢者疑似体験（北野上小学校）



福祉防災学習（下津第一中学校）



<table>
<tr><td>Ⅱ．地域福祉事業</td><td>１０　ボランティアセンター活動事業、ボランティア活動支援事業</td></tr>
<tr><td>事業費総額</td><td>４，６０７，３６７円</td></tr>
<tr><td>財　　源</td><td>市補助金、県社協補助金、共募配分金、社協会費、その他（利用料等）</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td>社会福祉協議会に登録されているボランティアへの活動助成金の交付、保険料の助成、給食・配食ボランティアへの食材費助成などにより、ボランティア活動を支援します。<br>社会貢献につながるボランティア養成講座を開催するとともに、高校生以上の学生や企業・団体等を対象にボランティア活動体験を実施するほか、ボランティア連絡協議会と連携した事業を実施します。</td></tr>
<tr><td>実施内容・実績</td><td>●ボランティア活動の支援及び育成<br>1. ボランティアへの活動費等の支援<br>地域福祉の向上とボランティア活動の拡充及び促進を図るため、申請のあったボランティアグループ１３団体、個人ボランティア２名にボランティア活動支援事業助成金を交付しました。<br>（交付額２５３，８２２円）<br>また、食事サービスを提供するボランティアグループに対して、材料費等の支援を行いました。
<table>
<tr><th>グループ名</th><th>活動延べ人数</th><th>配食総数</th><th>実施回数</th></tr>
<tr><td>給食ボランティアわかば会</td><td>２３１名</td><td>７２８食</td><td>７回</td></tr>
<tr><td>大野地区配食ボランティア</td><td>５１名</td><td>２８７食</td><td>１１回</td></tr>
</table>
2. ボランティア活動保険への加入促進<br>ボランティア活動中に起こる様々な事故に対する備えとして、ボランティア活動保険への加入に努めるとともに、社会福祉協議会に登録されたボランティアでボランティア活動保険基本プランに加入された５５９名の保険料の一部を負担しました。<br><br>●ボランティアの相談、登録及び斡旋<br>コロナ禍における活動制限や高齢化等により、前年度に比べ登録グループ数は6グループ、実登録者数は１３９名それぞれ減少しました。
<table>
<tr><td>1. 相談件数</td><td colspan="3">２５件</td></tr>
<tr><td>2. 登録グループ数</td><td colspan="3">３５グループ</td></tr>
<tr><td>3. 実登録者数</td><td>６１４名</td><td>男性：１４１名</td><td>女性：４７３名</td></tr>
<tr><td>うち新規登録</td><td>８名</td><td>男性：　４名</td><td>女性：　４名</td></tr>
</table>
●ボランティア情報の提供<br>広報紙やホームページ、掲示板等を通じてボランティアを募集するとともに、ボランティアグループの活動紹介などの情報提供を行いました。</td></tr>
</table>

●ボランティアルームの開設

海南保健福祉センター３階において、ボランティア相互の情報共有や交流の場としてのボランティアルームを開設しました。

| 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 回数 | 1 | 2 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 2 | 4 | 1 | 1 | 3 | 20 |
| 延人数 | 1 | 6 | 5 | 2 | 4 | 4 | 4 | 9 | 11 | 4 | 5 | 8 | 63 |

●生活支援ボランティア養成講座の実施

地域福祉活動支援事業で実施した生活支援ボランティア養成講座の機会等を活用し、ボランティア登録者増を図りました。

日　程：令和５年３月１２日、１９日
参加者：９名（うち３名が新規ボランティア登録）
内　容：［講演］生活支援ボランティアとしての接遇マナー
認知症の方とのかかわり方
高齢者のニーズについて　等
［体験］一人暮らし高齢者宅等でのボランティア体験

●ボランティア体験の仲介

ながみね農業協同組合の協力を得て、海南高校野球部による農業ボランティア活動を仲介しました。

日　程：令和４年１２月１１日、１８日
参加者：延べ５５名
内　容：みかん農家の収穫作業手伝い

●ボランティア連絡協議会との連携

・海南市ボランティア連絡協議会総会（書面）の開催（２回）
・海南市ボランティア連絡協議会理事会の開催（２回）
・海南市ボランティア連絡協議会海南支部理事会の開催（３回）
・海南市ボランティア連絡協議会下津支部理事会の開催（４回）

●社会貢献的ボランティアプログラムづくり

企業や団体等に様々な分野のボランティア活動の情報を提供できるよう、地域のニーズに応じた社会貢献的ボランティアプログラムの作成に取り組みました。

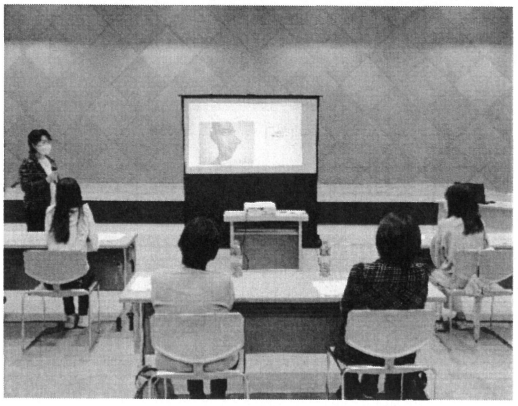
| | |
|---|---|
| 地域福祉活動計画 | 基本目標３：安心・安全な支え合いのまちづくり<br>事業名：ボランティアセンター活動事業、新しい社会貢献的ボランティアプログラムづくり |

＜主な様子＞

給食ボランティア（内海地区）



生活支援ボランティア養成講座



＜参考資料＞

| 年　　度 | 相談件数 | 登録グループ数 | 実登録者数 |
|---|---|---|---|
| 令和３年度 | １７件 | ４１グループ | ７５３名 |
| 令和２年度 | ９件 | ４７グループ | ８１７名 |

| Ⅱ．地域福祉事業 | １１　ふれあい・いきいきサロン支援事業 |
|---|---|
| 事業費総額 | ７，５３６，２４０円 |
| 財　　源 | 市補助金、社協会費 |
| 事業概要 | 地域住民の孤立感の解消、地域の見守り、健康づくりを目的として、身近な地域の人々が気軽に集まり、おしゃべりや体操などを楽しみながら仲間づくりができるよう支援を行います。 |

実施内容・実績

●市内１５か所のサロンへの運営支援のほか、活動費や設立費用等を助成しました。（助成額５６８，４００円）

| 地　区 | サロン名 | 主な活動場所 | 実施回数 |
|---|---|---|---|
| 日　方 | 陽だまりサロン | 日方東部児童会館 | 20 回 |
| | みんなのカフェ | 海南駅前地区集会所 | 47 回 |
| 内　海 | マダムサロン | 内海東部地区集会所 | 16 回 |
| 冷　水 | 喜楽会 | 冷水集会所 | 11 回 |
| 大　野 | サニー井田サロン | サニータウン内民家 | 8 回 |
| | 小中サロン | 内海東部地区集会所 | 9 回 |
| 巽 | たのしい会 | 大谷児童会館 | 3 回 |
| | 阪東いきいきサロン | 重根西部地区集会所 | 5 回 |
| | サロンぼたん | 下村地区集会所 | 6 回 |
| | 宮橋いきいきサロン | 宮橋地区集会所 | 9 回 |
| 亀　川 | かめっこサロン | 亀川公民館 | 5 回 |
| | PINCORO LIFE サロン | つつじヶ丘自治会館 | 1 回 |
| 南野上 | ひや水なかよしサロン | ひや水地区集会所 | 8 回 |
| | いきいきサロン九品寺 | 九品寺地区集会所 | 8 回 |
| 下　津 | 歌声サロン四季の会 | 光輪寺 | 6 回 |

●コロナの影響により活動を休止された３か所のサロンについて、再開に向けた相談を行うなどの支援をしました。

| 地　区 | サロン名 | 主な活動場所 |
|---|---|---|
| 黒　江 | フレッシュくろえ | 黒江防災コミュニティセンター |
| 巽 | さわやかサロン | たつべパークランド集会所 |
| | たのしい会 | 大谷児童会館 |

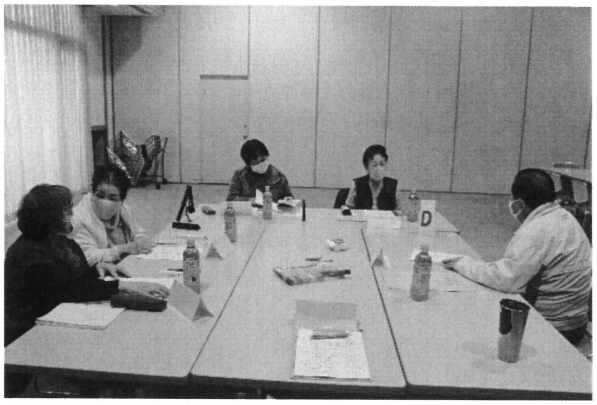
| | |
|---|---|
| | ●現在サロンを運営している方やこれから始めようと検討されている方を対象にサロン交流会を開催し、身近な地域にサロンがあることの大切さやサロンの運営方法等を話し合い、設立等の推進を図りました。（参加者２３名）<br><br>●サロン立上げの希望があった地区において相談対応を行いました。<br>・内海、大野、亀川地区<br>新規サロン各１か所立ち上げ<br>・中野上地区<br>令和５年４月から新規サロン１か所立ち上げ予定<br>・下津地区<br>令和５年５月から新規サロン２か所立ち上げ予定 |
| 地域福祉<br>活動計画 | 基本目標１：助け合い・支え合える地域コミュニティづくり<br>事業名：ふれあい・いきいきサロン支援事業 |

＜主な様子＞

小中サロン



サロン交流会



| Ⅱ．地域福祉事業 | １２　地域福祉活動計画進行管理事業 |
|---|---|
| 事業費総額 | ― |
| 財　　源 | ― |
| 事業概要 | 市民、学識経験者や地域福祉関係者等で構成する地域福祉活動計画推進検討会において、行政と連携を図りながら、第２次地域福祉活動計画の進捗状況を検証します。 |
| 実施内容・実績 | 令和４年１０月２１日、海南保健福祉センターにおいて令和４年度海南市地域福祉活動計画推進検討会を開催しました。<br>［内容］<br>１．地域福祉活動計画の概要について<br>地域住民や地域の多様な主体が我が事として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて丸ごとつながることで、一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく地域共生社会の実現に向けて取り組んでいくことを確認しました。<br>２．令和３年度の事業実績及び令和４年度の取組状況について<br>地域福祉活動計画に記載の事業の令和３年度の実績と令和４年度の取組状況を報告しました。<br>３．重点事業調書について<br>重点事業①地域福祉活動支援事業（生活支援体制整備事業等）<br>・構成員より亀川地区の第２層協議体の活動事例の報告がありました。<br>重点事業②福祉総合相談事業<br>・長年ひきこもっていた方が職員の支援により日用雑貨関係の就労に至った事例について報告しました。<br>重点事業③災害ボランティア活動の基盤強化<br>・災害ボランティアセンター設置運営訓練の開催にあたり、今後は和歌山県看護協会研修センターを会場として使わせてもらう方向かとの質問に、市役所にも近く、会場としても広く使い勝手が良さそうであるので、協定を締結したいと考えていると回答しました。 |
| 地域福祉<br>活動計画 | 計画外 |

| Ⅱ．地域福祉事業 | １３　福祉総合相談事業 |
|---|---|
| 事業費総額 | ― |
| 財　　源 | ― |
| 事業概要 | 行政や関係機関、ＮＰＯ法人等との連携を図りながら、支援を必要とする方に必要な情報提供や福祉サービスの提供へ結び付けていくことができるように相談支援体制の充実を図るとともに、多様で複雑な福祉課題に対応するため、総合相談事業を統括するコーディネーション力の高い専門職を養成し配置します。<br>福祉の情報が届かずに困りごとを抱えている方に対して、地域の福祉関係機関などを通じて社会福祉協議会の相談窓口につながるよう情報発信の強化を図るほか、ＳＯＳを出すことができない方に専門職が地域に出向き相談に応じるなど、地域ニーズの把握に努めます。 |
| 実施内容・実績 | ●相談受付状況<br>相談件数：４４件<br><br>●相談内容内訳<br>ボランティア関連：２４件<br>地域福祉関連（サロン・協議体・こども食堂）：３件<br>福祉教育関連：１件<br>生活困窮関連：１件<br>資金貸付関連：１件<br>募金、寄附金関連：３件<br>その他：１１件<br><br>●他機関との連携<br>福祉・医療：０件<br>行政：２件<br>民生委員児童委員協議会：０件<br>ボランティア：４件<br>その他：２件<br><br>相談業務の充実を図るため、様々な場面での相談内容を職員間で共有し、統一された対応ができる体制を構築するとともに職員一人ひとりの相談支援能力の強化、コーディネーション力の向上に努めました。<br>前年度に引き続き、各地区の民生委員児童委員協議会の定例会に出席し、情報を提供していただけるよう依頼し、情報発信の強化に努めました。 |

| | |
|---|---|
| 地域福祉<br>活動計画 | 基本目標２：市民の困りごとを受け止める総合相談体制づくり<br>事業名：福祉総合相談事業、コーディネーション力の高い専門職の養成と配置、コーディネーション力の向上、情報が届かない方への情報発信の強化、専門職によるアウトリーチ |

〈参考資料〉

| 年　　度 | 相談件数 |
|---|---|
| 令和３年度 | ６２件 |
| 令和２年度 | ７８件 |

○令和４年度に参加した主な講座・研修等

R4.6/9、10　　精神保健福祉関連新任者研修（ひきこもり）

R4.7/15、8/18、9/29　地域生活課題の解決に向けたソーシャルワーク研修会

R4.10/30　　ソーシャルワーカーデー2022inわかやま

<table>
<tr><td>Ⅱ．地域福祉事業</td><td>１４　生活困窮者自立相談支援事業</td></tr>
<tr><td>事業費総額</td><td>１２，２４１，０５７円</td></tr>
<tr><td>財　　源</td><td>市受託金、善意銀行預託金</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td>市の委託を受けて、生活困窮者自立支援法に基づき、既存の制度では十分に対応出来なかった生活保護に至る前の段階の生活困窮者に対し、自立に向けた包括的かつ伴走型の支援を行います。<br>善意銀行預託金を活用し、生活困窮者等への緊急かつ一時的な援助物資を整備します。</td></tr>
<tr><td>実施内容・実績</td><td>●市役所、医療法人、ハローワークなどと連携し、定期的に情報共有の場や支援調整会議を開催したほか、資金貸付、福祉サービス利用援助、家計改善などの社協事業を通して必要な情報共有や助言、具体的な支援プランの作成など自立に向けた相談支援を実施しました。<br>特にコロナ特例貸付を通じて関わることとなった世帯には、償還免除・期間の延長などの手続きを切り口にアウトリーチ型の支援を行いました。<br><br>●コロナの影響による休業や失業、減収などの理由の相談が激増する中、住居確保給付金や債務整理、生活福祉資金の特例貸付などの各種支援制度を併用したプランを作成し、自立に向けた生活再建や生活保護制度へつなぐなど他機関と連携をとりながら包括的な支援を行いました。
<table>
<tr><td></td><td>全体</td><td>コロナ影響</td></tr>
<tr><td>相談件数</td><td>１９件</td><td>６件</td></tr>
<tr><td>就労支援から就労に繋がった件数</td><td>１０件</td><td>３件</td></tr>
</table>
●ひきこもり支援においては、以前民生委員児童委員協議会により実施された「地域のひきこもりアンケート」の調査結果に基づき、市社会福祉課と連携して聞き取り調査や自宅訪問を行いました。また、前年度に引き続きボランティアグループ「ほっとスペース」が行っているひきこもり支援について情報共有を行ったほか、新たにひきこもり支援を考えている「集義会」から居場所づくりなどの提案をいただきました。<br><br>●市役所社会福祉課と野上厚生病院が企画した月１回の女子会（ひきこもり当事者の会）へも参加しました。<br><br>●先進的に居場所と就労支援を目指して活動している「ゲストハウスのぞみ」への活動見学は、コロナの影響により中止となりました。<br><br>●職員のスキルアップを図るため、自立支援に関わる研修に参加しました。</td></tr>
</table>

●新規相談者数　（単位：名）

| 月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 人数 | 11 | 11 | 11 | 10 | 7 | 12 | 10 | 10 | 5 | 15 | 7 | 13 | 122 |

●年齢・性別　（単位：名）

| 年齢 | 10代 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 | 80代以上 | 不明 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 男 | 0 | 5 | 4 | 13 | 16 | 14 | 7 | 6 | 9 | 74 |
| 女 | 0 | 2 | 7 | 9 | 9 | 6 | 14 | 0 | 1 | 48 |
| 計 | 0 | 7 | 11 | 22 | 25 | 20 | 21 | 6 | 10 | 122 |

●継続支援者推移　（単位：名）

| 月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 人数 | 34 | 34 | 36 | 42 | 38 | 33 | 20 | 22 | 19 | 24 | 22 | 14 |

●プラン作成件数　（単位：件）

| 月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 件数 | 0 | 6 | 4 | 8 | 7 | 7 | 5 | 8 | 2 | 8 | 2 | 11 | 68 |

●善意銀行預託金を活用し、乳幼児のいる生活困窮世帯に食料品等（ミルク、オムツ等）を提供しました。

| | |
|---|---|
| 地域福祉活動計画 | 基本目標２：市民の困りごとを受け止める総合相談体制づくり<br>事業名：生活困窮者自立支援事業、当事者サロンやグループ支援の推進 |

＜参考資料＞

| 年　度 | 新規相談者数 | 次年度への継続支援者数 | プラン作成件数 |
|---|---|---|---|
| 令和３年度 | １３４名 | ３２名 | ９２件 |
| 令和２年度 | ２４６名 | ８１名 | １６件 |

| Ⅱ．地域福祉事業 | １５　生活困窮者家計改善支援事業 |
|---|---|
| 事業費総額 | ２，６７７，３５６円 |
| 財　　源 | 市受託金 |
| 事業概要 | 市の委託を受け、生活困窮者自立支援法に基づいた生活困窮者に対し、家計相談、家計再生プランの作成等、家計改善に向けた助言や提案を行います。<br>家計表を作成し、キャッシュフローや家計再生プランの作成なども行い、支援の中で必要であれば生活福祉資金貸付のあっせんを行うほか、税滞納の分納相談や法テラスなどの相談窓口にも同行し支援を行います。 |
| 実施内容・実績 | 家計に問題を抱える生活困窮者からの相談に応じ、相談者とともに家計の状況を「見える化」し、生活再生に向けた意欲を引き出すほか、家計再建の計画や家計に関する個別のプランを作成するなど、利用者自身の家計管理力を高め、早期に生活が再生されるように支援しました。<br>●利用者数　１４名（うち新規利用者数８名） |

●年齢・性別　（単位 名）

| 年齢 | 10代 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 | 80代以上 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 男 | 0 | 0 | 0 | 1 | 2 | 3 | 2 | 0 | 8 |
| 女 | 0 | 0 | 0 | 1 | 2 | 1 | 2 | 0 | 6 |
| 計 | 0 | 0 | 0 | 2 | 4 | 4 | 4 | 0 | 14 |

●相談延べ件数　（単位 件）

| 項目 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 電話 | 2 | 7 | 7 | 8 | 34 | 35 | 27 | 26 | 41 | 29 | 33 | 36 | 285 |
| 来所 | 4 | 2 | 1 | 4 | 9 | 5 | 5 | 4 | 12 | 7 | 5 | 5 | 63 |
| 訪問 | 0 | 1 | 1 | 2 | 9 | 7 | 10 | 9 | 10 | 6 | 7 | 7 | 69 |
| その他 | 3 | 1 | 0 | 0 | 7 | 5 | 8 | 6 | 6 | 7 | 5 | 5 | 53 |
| 計 | 9 | 11 | 9 | 14 | 59 | 52 | 50 | 45 | 69 | 49 | 50 | 53 | 470 |

※主な相談内容

・収入、生活費に関すること

・家賃や債務の支払いに関すること

・税金や公共料金等の支払いに関すること

| 地域福祉活動計画 | 計画外 |
|---|---|

＜参考資料＞

| 年　度 | 利用者数 | うち新規利用者数 |
|---|---|---|
| 令和３年度 | １３名 | ７名 |
| 令和２年度 | １６名 | ６名 |

| Ⅱ．地域福祉事業 | １６　生活困窮者自立支援金給付事業 |
|---|---|
| 事業費総額 | ― |
| 財　　源 | ― |
| 事業概要 | 新型コロナウイルス感染症が長期化するなかで、既に総合支援資金の再貸付が終了するなどにより、特例貸付を利用できない世帯で、収入を含む一定の世帯要件を満たす生活困窮世帯に対して、新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金を支給するにつき、それに関わる相談等の受付業務を実施します。 |
| 実施内容・実績 | ●申込受付者数　２名<br>●支給額合計　３６０，０００円<br>●相談延べ件数　６６件 |
| 地域福祉<br>活動計画 | 計画外 |

＜参考資料＞

| 年　度 | 申込受付者数 | 支給額合計 | 相談延べ件数 |
|---|---|---|---|
| 令和３年度 | ３名 | ７２０，０００円 | ６０件 |

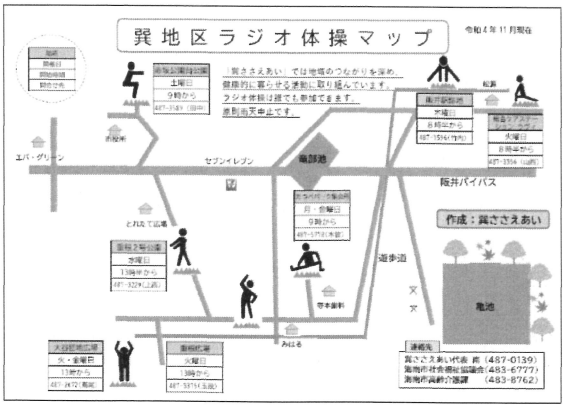
| Ⅱ．地域福祉事業 | １７　地域福祉活動支援事業（生活支援体制整備事業等） |
|---|---|
| 事業費総額 | ８，３７８，９３６円 |
| 財　　源 | 市受託金、その他（前期末支払資金残高） |
| 事業概要 | 市の委託を受け、地域住民を主体とした助け合い・支え合い活動を推進し、高齢者等の日常生活上の困りごとに地域が主体的に取り組む仕組みづくりを支援します。<br>生活支援サービスを担う多様な事業主体と連携するとともに、地域住民のみでは取り組むことが難しい地域ニーズに、ボランティアと協力できるよう支援体制の充実・強化に努めます。<br>生活支援コーディネーターの充実と質の向上のため、研修に参加します。 |
| 実施内容・実績 | ア　地域福祉活動支援事業（生活支援体制整備事業等）の実施<br>●市内全域（第１層）の取り組み<br>生活支援・介護予防サービス提供主体等協議体（第１層協議体）会議を年３回開催し、各構成員の所属団体の活動、社会貢献活動及びコロナ禍での取り組みなどを共有しました。また、住民主体の助け合い活動を広めるための取り組みの一環で開催した「助け合い社会フォーラム」には108名が参加しました。<br>市民の方の生活を支えるためのサービス・活動等を紹介した冊子「社会資源リスト」を作成したほか、各地区のアセスメントシート作成、インターネット上のサービスを活用した市内の集いの場等のマッピング、海南市自治会連絡協議会等の各種団体への事業協力依頼等を行いました。<br><br>●旧小学校区（第２層）の取り組み（協議体設置地区）<br>地域において助け合いや支え合いについて協議できる場づくりの推進や地域課題の解決に向け、下記地区（第２層協議体）における話し合いや取り組みを支援しました。<br>・日方地区（日方パーク郷土の愛～共助と絆～）<br>地域の集いの場を紹介する広報誌「みなさんお元気ですか。」を４回発行し、地域活動の意味づけや啓発を行いました。また、小学生と一緒に高齢者宅を訪問し、掃除をしながら会話をするなどの交流や小学校と連携してまちあるき等の地域学習を実施しました。<br>・冷水地区（冷水地区役員会）<br>自治会役員を構成員とした第２層協議体が令和４年７月に発足し、毎月の定例会で地域における支え合いについて協議を行いました。また、移動支援ニーズ及び運転ボランティアとしての協力意向について、地区内全戸にアンケート調査を行い、令和５年４月予定の外出支援ボランティア講習会の開催に向け、県生活支援専門アドバイ |

| | |
|---|---|
| | ザー派遣事業の利用による講師派遣等の調整を行いました。<br>・巽地区（巽ささえあい）<br>サロンやラジオ体操などの地域活動を把握し、地域活動の充実・強化に向けた情報共有を行いました。その一環として「巽地区ラジオ体操マップ」を作成し、地区内に全戸配布しました。また、地区の防災意識向上のため小地域単位での話し合いを促進する方法について協議を行いました。<br>・亀川地区（亀川ささえ愛）<br>地域の歴史を知り、地域への愛着を持ってもらうことを目的に、亀川小学校で地区の昔のくらしや道具などについての授業を行いました。また、道路の新設などで新たに小学生の登下校の見守りが必要な箇所について構成員で話し合い、月１回の見守り活動を開始しました。<br>・北野上地区（ななさとコミュニティ協議会）<br>北野上地区自治会連絡協議会や民生委員児童委員協議会において、ななさとコミュニティ協議会の方針を共有し、地域での「見守り合い」について意識づけを行いました。<br>・下津地区（下津ファミリー）<br>コロナで外出の機会が減り、近所のつながりも弱くなっているため、誰でも気軽に参加できるイベントで楽しんでもらうことを目的に「ふれあいウォーク」を開催しました。また、構成員と一緒にサロンやラジオ体操などの地域活動先への訪問・取材を行い、地域資源を把握し情報共有を行いました。<br>・大東地区（大東ふれ愛プラザ方方）<br>高齢者の居場所として体操教室を月２回開催し、健康維持増進や参加者同士の交流を図るとともに、小学生の登下校の見守りに合わせて高齢者同士の見守りも行いました。<br>・大崎地区（大崎助け合い・支え合い）<br>協議の場づくりに向けて、区長と方針や目的などについて協議を重ねました。<br>・塩津地区（塩津ＭＴＳ）<br>挨拶や声かけなどの見守り活動を行っていくにあたり、対象となる世帯の共有を行いました。<br><br>●旧小学校区（第２層）の取り組み（協議体未設置地区）<br>黒江・船尾、内海、大野、中野上、南野上、加茂第一、加茂第二、仁義地区の自治会長等の地域のキーパーソンと思われる方々に、生活支援体制整備事業の概要や必要性の説明を行い、協議体の立ち上げに向けた働きかけを行いました。 |

| | |
|---|---|
| | イ　社会福祉法人等との連携<br>地域ケア推進会議や医療・介護連携推進会議に参加し、生活支援体制整備事業の説明、第１層及び第２層協議体の取組説明を行いました。また、医療法人等に対し、地域の移動支援のニーズに応じた具体的な支援内容について協力を依頼しました。<br><br>ウ　生活支援コーディネーターの充実と質の向上<br>県主催の生活支援コーディネーター実践研修会、県アドバイザー派遣事業の活用、田辺市社協・上富田町社協への視察、彦根市社協職員を招いての研修会、アドバイザーを招いての圏域職員研修会など、あらゆる機会を捉えて生活支援コーディネーターの質の向上に努めました。<br><br>エ　地域ニーズへのボランティアの対応<br>高齢者の方や障害者の方が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために、日常生活上の“ちょっとした困りごと”に対応できる生活支援ボランティアを養成するため、「生活支援ボランティア養成講座」を実施しました。<br><br>オ　移送サービス提供体制の検討<br>県主催の生活支援コーディネーター実践研修会の受講内容をもとに、全国各地の移送サービス提供体制を研究し、冷水地区における実施に向けたアンケート調査を行いました。 |
| 地域福祉<br>活動計画 | 基本目標１：助け合い・支え合える地域コミュニティづくり<br>事業名：地域福祉活動支援事業（生活支援体制整備事業等）、コミュニティワーカーの配置、社会福祉法人等との連携、生活支援コーディネーターの充実と質の向上、地域ニーズへのボランティアの対応<br>基本目標３：安心・安全な支え合いのまちづくり<br>事業名：地域福祉活動支援事業（生活支援体制整備事業等）、移送サービス提供体制の検討 |

＜主な様子＞

ラジオ体操マップ（巽地区）




ふれあいイベント（下津地区）



<table>
<tr><td>Ⅱ．地域福祉事業</td><td>１８　子どもの居場所づくり支援事業</td></tr>
<tr><td>事業費総額</td><td>１０，５１１円</td></tr>
<tr><td>財　　源</td><td>社協会費</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td>地域の子どもの居場所づくりや子どもと大人の地域交流の場となるよう、こども食堂の立ち上げ時の支援などに取り組みます。<br>こども食堂以外の子どもの居場所として、学生ボランティアと学習レクリエーションを通じて交流する学習支援を実施します。</td></tr>
<tr><td>実施内容・実績</td><td>●こども食堂の立ち上げ検討者に対し、相談に応じるなどの支援を行いました。<br><br>●こども食堂以外の子どもの居場所として、海南高校、星林高校、和歌山信愛大学等の学生ボランティアの協力のもと、小学４～６年生を対象に学習支援を実施しました。海南 nobinos では学習レクリエーションを実施し、下津保健福祉センターでは夏休みと冬休み期間に、持参した宿題に取り組みました。
<table>
<tr><th>実 施 日</th><th>延べ小学生<br>参加者数</th><th>延べ学生<br>ボランティア数</th><th>場　所</th></tr>
<tr><td>５月２１日</td><td>９名</td><td>２名</td><td>海南 nobinos</td></tr>
<tr><td>８月　８日</td><td>２名</td><td>３名</td><td rowspan="3">下津保健福祉<br>センター</td></tr>
<tr><td>８月　９日</td><td>２名</td><td>４名</td></tr>
<tr><td>１２月２６日</td><td>６名</td><td>１５名</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>地域福祉<br>活動計画</td><td>基本目標１：助け合い・支え合える地域コミュニティづくり<br>事業名：子どもの居場所づくり支援（こども食堂等）</td></tr>
</table>

＜主な様子＞

学習支援



レクリエーション



＜参考資料＞

| 年　　度 | 学習支援実施回数 | 延べ小学生参加者数 | 延べ学生ボランティア数 |
|---|---|---|---|
| 令和３年度 | ３回 | ２６名 | ５名 |
| 令和２年度 | ２回 | １２名 | １０名 |

| Ⅱ．地域福祉事業 | １９　認知症見守り・啓発事業 |
|---|---|
| 事業費総額 | ― |
| 財　　源 | ― |
| 事業概要 | 認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを目的とした海南海草ＳＯＳネットワーク連絡会議や認知症啓発イベントに参加し、啓発に努めます。 |
| 実施内容・実績 | ●海南海草ＳＯＳネットワーク連絡会議<br>令和４年６月３０日に開催された「海南海草ＳＯＳネットワーク連絡会議」に参加し、海南市や紀美野町の行方不明高齢者の事例共有、海南警察署・海草振興局・海南市・紀美野町・両市町消防本部・両市町社会福祉協議会・介護事業所等のネットワークを確認しました。<br><br>●認知症支援ネットワーク会議<br>令和４年７月４日に開催された「認知症支援ネットワーク会議」に参加し（令和５年３月は書面開催）、海南医師会、海南市、海南医療センター、海南市社会福祉協議会、介護事業所の認知症関連事業の取り組み状況の共有、今後の取り組みを協議しました。<br><br>●認知症サポーター養成講座<br>海南市キャラバンメイト会議に参加し「認知症サポーター養成講座」を企画、実施（令和４年１０月２７日、１２月５日）しました。また、令和５年２月７日に開催された認知症サポーターステップアップ講座に参加し、認知症理解をさらに深めるとともに、今後の取り組みを協議しました。<br><br>●認知症啓発イベント<br>令和５年２月２６日に実施された徘徊高齢者早期発見のための「安心声掛け訓練（黒江・船尾地区）」に参加し、行方不明高齢者の早期発見と安全確保について実践を通して地域に啓発しました。 |
| 地域福祉<br>活動計画 | 基本目標３：安心・安全な支え合いのまちづくり<br>事業名：認知症見守り・啓発事業 |

<table>
<tr><td>Ⅱ.地域福祉事業</td><td>２０　福祉サービス利用援助事業</td></tr>
<tr><td>事業費総額</td><td>９，９７８，４６６円</td></tr>
<tr><td>財　　源</td><td>県社協受託金、県社協補助金、市補助金、その他（利用料）</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td>県社会福祉協議会の委託を受けて、判断能力が不十分な高齢者や知的障害、精神障害のある方などに対して、福祉サービスの利用援助や日常生活上の手続き援助、日常的な金銭管理、書類等の預かりなどによる支援を行います。</td></tr>
<tr><td>実施内容・実績</td><td>判断能力が不十分な方が、安心して日常生活が送れるように、定期的に訪問し、福祉サービスの利用や暮らしに必要な金銭の出し入れの手伝いを行うほか、福祉サービス以外の日常生活上の手続きについても、相談や情報提供を含め、できる範囲で支援を行いました。<br><br>●利用状況<br><table><tr><td></td><td>高齢者</td><td>知的障害者</td><td>精神障害者</td><td>その他</td><td>合　計</td></tr><tr><td>令和３年度末利用者数</td><td>１５名</td><td>１４名</td><td>２３名</td><td>４名</td><td>５６名</td></tr><tr><td>新規利用者数</td><td>３名</td><td>２名</td><td>２名</td><td>０名</td><td>７名</td></tr><tr><td>小　　計</td><td>１８名</td><td>１６名</td><td>２５名</td><td>４名</td><td>６３名</td></tr><tr><td>契約終了者数</td><td>４名</td><td>１名</td><td>１名</td><td>０名</td><td>６名</td></tr><tr><td>令和４年度末利用者数</td><td>１４名</td><td>１５名</td><td>２４名</td><td>４名</td><td>５７名</td></tr></table><br>●相談状況<br><table><tr><td></td><td>高齢者</td><td>知的障害者</td><td>精神障害者</td><td>その他</td><td>合　計</td></tr><tr><td>相談件数</td><td>１１８件</td><td>７１件</td><td>１７０件</td><td>２０件</td><td>３７９件</td></tr><tr><td>うち初回相談</td><td>３件</td><td>２件</td><td>１件</td><td>２件</td><td>８件</td></tr></table>コロナの影響により、社会福祉協議会の事務所が閉鎖となった場合でも支援が滞らないよう、生活費を利用者宅等へ郵送できるよう体制を整備しました。</td></tr>
<tr><td>地域福祉活動計画</td><td>基本目標２：市民の困りごとを受け止める総合相談体制づくり<br>事業名：福祉サービス利用援助事業</td></tr>
</table>

＜参考資料＞

| | 高齢者 | 知的障害者 | 精神障害者 | その他 | 合　計 |
|---|---|---|---|---|---|
| 令和２年度末利用者数 | １３名 | １３名 | ２２名 | ４名 | ５２名 |

<table>
<tr><td>Ⅱ．地域福祉事業</td><td>２１　生活資金貸付事業</td></tr>
<tr><td>事業費総額</td><td>１６０，０００円</td></tr>
<tr><td>財　　源</td><td>貸付基金</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td>災害、疾病、その他の事情により生活に困窮をきたした世帯に対し生活資金の貸付けと必要な相談支援を行い、経済的自立の助長と生活意欲の向上を図ります。
<table>
<tr><th>貸付申込限度額</th><th>据置期間</th><th>償還期間</th></tr>
<tr><td>１世帯につき<br>上限７０，０００円</td><td>最長６か月</td><td>最長２年以内</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>実施内容・実績</td><td>自立相談支援窓口と連携し、貸付が必要な方の早期発見に努めるとともに貸付後も随時状況確認を行い、自立に向け継続的に支援を行いました。<br><br>●資金貸付状況
<table>
<tr><th>件　数</th><th>貸付金額</th><th>償還率（※）</th></tr>
<tr><td>８件</td><td>１６０，０００円</td><td>２４．８％</td></tr>
</table>
※① 令和４年度の貸付金の総額 879,000 円<br>② ①のうち償還猶予額 25,000 円<br>③ 令和４年度中の償還済額 196,000 円<br>④ 償還不能による免除額 64,000 円<br>償還率（％）＝（③/（①―②―④））×100</td></tr>
<tr><td>地域福祉<br>活動計画</td><td>基本目標２：市民の困りごとを受け止める総合相談体制づくり<br>事業名：資金貸付事業（生活資金）</td></tr>
</table>

＜参考資料＞

| 年　　度 | 件　数 | 貸付金額 | 償還率 |
|---|---|---|---|
| 令和３年度 | ６件 | ２６０，０００円 | ３４．０％ |
| 令和２年度 | ７件 | ３２０，０００円 | ３５．６％ |

<table>
<tr><td>Ⅱ．地域福祉事業</td><td>２２　生活福祉資金貸付事業</td></tr>
<tr><td>事業費総額</td><td>４，４２２，０００円</td></tr>
<tr><td>財　　源</td><td>県社協受託金</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td>県社会福祉協議会の委託を受け、低所得者世帯、高齢者世帯又は障害者世帯に対して資金を貸し付けるだけではなく、相談支援を行うことにより、経済的自立及び生活意欲の助長並びに社会参加の促進を図ります。</td></tr>
<tr><td>実施内容・実績</td><td>●生活福祉資金貸付<br>低所得者、高齢者、障害者の方々が安定した生活を営むために、また世帯の生計中心者の失業等により生計の維持が困難となった世帯への援助施策として、次のとおり生活福祉資金貸付事業を実施しました。
<table>
<tr><th colspan="2">貸付種類</th><th>件数</th><th>貸付金額</th></tr>
<tr><td>福祉資金</td><td>福祉費</td><td>３件</td><td>２２５，０３０円</td></tr>
<tr><td colspan="2">合　　計</td><td>３件</td><td>２２５，０３０円</td></tr>
</table>
●コロナ特例貸付<br>コロナの影響で休業や失業等により減収し、生活資金に困っている世帯に対して、福祉資金（緊急小口資金）、総合支援資金（生活支援費）の特例貸付を実施しました。
<table>
<tr><th colspan="2">貸付種類</th><th>件数</th><th>貸付金額</th></tr>
<tr><td>福祉資金</td><td>緊急小口資金</td><td>１２件</td><td>２，３５０，０００円</td></tr>
<tr><td>総合支援資金</td><td>生活支援費</td><td>７件</td><td>３，６００，０００円</td></tr>
<tr><td colspan="2">合　　計</td><td>１９件</td><td>５，９５０，０００円</td></tr>
</table>
貸付申請は令和４年９月３０日をもって終了し、令和５年１月から返済が始まったが、償還免除の対象となる方には手続支援等を行うほか、対象に当てはまらない方には自立相談支援窓口と連携を取りながら継続して支援しています。
<table>
<tr><th colspan="2">償還免除</th><th colspan="2">償還完了</th><th colspan="2">償還猶予</th></tr>
<tr><td>人数</td><td>件数</td><td>人数</td><td>件数</td><td>人数</td><td>件数</td></tr>
<tr><td>73</td><td>117</td><td>20</td><td>26</td><td>2</td><td>4</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>地域福祉<br>活動計画</td><td>基本目標２：市民の困りごとを受け止める総合相談体制づくり<br>事業名：資金貸付事業（生活福祉資金）</td></tr>
</table>

＜参考資料＞

| 年　　度 | 生活福祉資金貸付 | | コロナ特例貸付 | |
|---|---|---|---|---|
| 令和３年度 | ４件 | ２，６３５，０００円 | １０９件 | ４４，１８０，０００円 |
| 令和２年度 | ７件 | ６，３５７，１８７円 | ２６３件 | ７９，３１４，０００円 |

<table>
<tr><td>Ⅲ．在宅福祉事業</td><td>１　いきいき介護予防事業</td></tr>
<tr><td>事業費総額</td><td>１３，１６１，３０５円</td></tr>
<tr><td>財　　源</td><td>市受託金</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td>市の委託を受けて、高齢者の自立的生活を助長するとともに、利用者相互のふれあいと交流を深め、健康の保持及び増進を図ります。</td></tr>
<tr><td>実施内容・実績</td><td>高齢者の方に安心して利用してもらえるよう、コロナ対策を徹底したうえで、下津保健福祉センターにおいて、検温や血圧などの健康チェック、いきいき百歳体操、レクリエーション、入浴、給食、送迎等のサービスを提供しました。（開所日数：２１７日）
<table>
<tr><td>延べ利用者数</td><td>男　性</td><td>女　性</td><td>合　計</td></tr>
<tr><td>地　区　等</td><td>４１２名</td><td>９３３名</td><td>１，３４５名</td></tr>
<tr><td>一人暮らし</td><td>２１名</td><td>３４４名</td><td>３６５名</td></tr>
<tr><td>フリーデイ</td><td>４４２名</td><td>３３４名</td><td>７７６名</td></tr>
<tr><td>合　計</td><td>８７５名</td><td>１，６１１名</td><td>２，４８６名</td></tr>
</table>
<table>
<tr><td rowspan="2">実利用者数</td><td>男　性</td><td>女　性</td><td>合　計</td></tr>
<tr><td>８３名</td><td>１９６名</td><td>２７９名</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>地域福祉<br>活動計画</td><td>計画外</td></tr>
</table>

＜参考資料＞

| 年　度 | 延べ利用者数 | | | 実利用者数 | | | 開所日数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 男性 | 女性 | 合計 | 男性 | 女性 | 合計 | |
| 令和３年度 | 368 名 | 756 名 | 1,124 名 | 65 名 | 142 名 | 207 名 | 112 日 |
| 令和２年度 | 212 名 | 455 名 | 667 名 | 71 名 | 144 名 | 215 名 | 55 日 |

<table>
<tr><td>Ⅳ. その他の関連事業</td><td>１　共同募金運動</td></tr>
<tr><td>事業費総額</td><td>４３７，８２３円</td></tr>
<tr><td>財　　源</td><td>共同募金事務費</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td>地域福祉活動の財源となる赤い羽根共同募金を広く募集するため、運動期間（１０月１日～翌年３月３１日）に戸別、街頭、職域、店頭等の各種募金運動を実施します。</td></tr>
<tr><td>実施内容・実績</td><td>●共同募金<br>自治会や海南市の協力を得て、共同募金運動を実施しました。
<table>
<tr><th>目 標 額</th><th>実 績 額</th><th>達 成 率</th></tr>
<tr><td>８，６１５，０００円</td><td>７，２７６，６０６円</td><td>８４．５％</td></tr>
</table>
《実績額内訳》
<table>
<tr><td>戸別募金</td><td>６，０８２，００８円</td></tr>
<tr><td>街頭募金</td><td>コロナの影響で中止</td></tr>
<tr><td>職域募金</td><td>６９１，７２１円</td></tr>
<tr><td>個人募金</td><td>２６，０００円</td></tr>
<tr><td>店頭募金</td><td>１６，１９６円</td></tr>
<tr><td>県共募受入れ募金</td><td>４６０，６８１円</td></tr>
<tr><td>合　　計</td><td>７，２７６，６０６円</td></tr>
</table>
●共同募金協力型自動販売機<br>売上げの一部が共同募金に寄付される共同募金協力型自動販売機について広報紙に掲載し、周知及び設置の呼びかけを行いました。（累計７台）</td></tr>
<tr><td>地域福祉活動計画</td><td>基本目標１：助け合い・支え合える地域コミュニティづくり<br>事業名：共同募金事業</td></tr>
</table>

＜参考資料＞

| 年　度 | 目 標 額 | 実 績 額 | 達 成 率 |
|---|---|---|---|
| 令和３年度 | ８，６１５，０００円 | ７，６９４，７１３円 | ８９．３％ |
| 令和２年度 | ８，６１５，０００円 | ７，４３４，５０６円 | ８６．３％ |

| 年　度 | 自動販売機設置台数（累計） |
|---|---|
| 令和３年度 | ７台 |
| 令和２年度 | ７台 |

<table>
<tr><td>Ⅳ. その他の関連事業</td><td>２　赤十字活動資金事業</td></tr>
<tr><td>事業費総額</td><td>１８５，０１５円</td></tr>
<tr><td>財　　源</td><td>日本赤十字事務費</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td>地震や台風などの自然災害や紛争、病気などに対する国内外での復興支援、救済活動、また救急法に基づく応急手当の知識と技術の普及などを行うため、赤十字活動資金を募集（５月１日～５月３１日）します。</td></tr>
<tr><td>実施内容・実績</td><td>●赤十字活動資金<br>自治会、赤十字奉仕団及び海南市の協力を得て、赤十字活動資金募集を実施しました。<br><table><tr><th>目 標 額</th><th>実 績 額</th><th>達 成 率</th></tr><tr><td>７，１６０，０００円</td><td>６，２９７，０７２円</td><td>８７．９％</td></tr></table><br>●ウクライナ人道危機救援金<br>ウクライナでの人道危機対応や避難民を受け入れる周辺国及びその他の国々における救援活動を支援するため、「ウクライナ人道危機救援金」の受付を実施し、１５５，７８１円を送金しました。<br><br>●２０２３年トルコ・シリア地震救援金<br>令和５年２月６日に発生したトルコ・シリア地震に伴う資金援助、救援・復興支援等のため、「２０２３年トルコ・シリア地震救援金」の受付を実施し、２４３，１４７円を送金しました。</td></tr>
<tr><td>地域福祉活動計画</td><td>計画外</td></tr>
</table>

＜参考資料＞

赤十字活動資金

| 年　度 | 目 標 額 | 実 績 額 | 達 成 率 |
|---|---|---|---|
| 令和３年度 | ７，３９０，０００円 | ６，４７３，１３３円 | ８７．６％ |
| 令和２年度 | ７，５１０，０００円 | ６，５９４，８５８円 | ８７．８％ |